

報告事項

美術常設企画展示「障屏画」の開催について

美術常設企画展示「障屏画」の開催について、別紙のとおり報告します。

平成23年3月19日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

美術常設企画展示「障屏画（しょうへいが）」の開催について

- | | |
|---------|--|
| 1 展覧会名 | 美術常設企画展示「障屏画（しょうへいが）」 |
| 2 会 期 | 平成23年4月9日（土）～5月22日（日） |
| 3 会 場 | 鳥取県立博物館 2階 近代美術展示室 |
| 4 主 催 | 鳥取県立博物館 |
| 5 観 覧 料 | 常設展示入館料
一般180円（150円） *（ ）は20人以上の団体 |
| 6 概 要 | 障子や襖などの建具や、屏風や衝立などの調度に描かれた「障屏画（しょうへいが）」は、日本の建築における室内画として独特の発展をとげた。この日本伝統の障屏画への関心を高め、理解を深めていただくため、当館の收藏品や寄託品を中心に、江戸時代初期から幕末までの約200年間に描かれた障屏画11点を展示紹介する。 |

* 美術常設企画展示：当館の收藏品を中心に、テーマを決めて行う企画展示。
平成23年度は5本計画。

1 展示の構成

（1）豪壮たる精神 ～ 17世紀の障屏画

17世紀初頭の、桃山美術の豪壮たる力強い息吹を感じさせる作品を紹介します。

【展示予定作品】

狩野山雪筆「龍虎図屏風」（六曲一双）〔個人蔵〕

狩野尚信筆「山水漁舟図襖」（四面）〔当館蔵（石谷コレクション）〕

（2）諸派繚乱 ～ 18世紀の障屏画

江戸時代中期に活躍した文人画家・与謝蕪村や、奇想の画家として知られる曾我^{そが}蕭^{しょうはく}白らの作品を紹介します。

【展示予定作品】

与謝蕪村筆「風竹図屏風」（六曲一双）〔当館蔵（石谷コレクション）〕

曾我蕭白筆「月夜山水図襖」（四面）〔当館蔵（石谷コレクション）〕

片山楊谷筆「猛虎図屏風」（六曲一双）〔個人蔵〕

（3）鳥取の藩絵師たち ～ 19世紀の障屏画

【展示予定作品】

沖探容筆「四季山水図屏風」（六曲一双）〔当館蔵〕

沖一峨筆「瓢箪図衝立」（一基）〔個人蔵〕

2 関連事業

ギャラリートーク（担当学芸員による展示解説）

日 時 平成23年4月9日（土）午後1時30分から

場 所 展示会場（近代美術展示室）

* 参加無料（但し、入館券が必要）